

衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する 特別委員会ニュース

H20.12.17 第170回国会第2号

12月17日、第2回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・拉致問題をめぐる現状について、河村国務大臣（拉致問題担当大臣）から説明を聴取しました。
- ・北朝鮮情勢について、中曽根外務大臣から説明を聴取しました。
- ・中曽根外務大臣、河村国務大臣（拉致問題担当大臣）、伊藤外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

小杉 隆君（自民）

- ・政府は、第6回六者会合に関する首席代表者会合（平成20年12月8～11日）について、どのような評価をしているのか。
- ・オバマ次期米大統領に拉致問題の重要性を訴える必要があるのではないか。
- ・拉致問題の解決は、議員外交を含め、多角的な取組が必要だと思うが、河村国務大臣の決意を伺いたい。

鷲尾 英一郎君（民主）

- ・日朝実務者協議（平成20年8月12・13日）における合意内容は文書化されているのか。
- ・政府は、日朝実務者協議における合意を北朝鮮に履行させるためにどのような措置を考えているのか。
- ・政府は、六者会合において、北朝鮮が申告した核計画の検証方法として核施設からのサンプル採取を合意文書に盛り込むことを求め続けるべきではないか。

高山 智司君（民主）

- ・北朝鮮が、8月の日朝実務者協議で合意された拉致問題の再調査を、9月になって見送ると通告してきたのはどのような経緯によるものか。
- ・政府は、金正日国防委員長健康状態及び後継者について、どのように把握しているのか。
- ・日英首脳会談（平成20年11月14日）の中で、拉致問題はどのように扱われたのか。

渡辺 周君（民主）

- ・政府は、北朝鮮の核兵器製造に言及したゲーツ米国防長

官の「フォーリン・アフェアーズ」誌への寄稿内容について、どのような認識を持っているのか。

- ・拉致問題について、米国のオバマ次期大統領の就任前にも、直接働きかけを行うべきではないのか。
- ・日本政府として、再調査を実施しようとする北朝鮮に対する追加制裁を検討しているのか。

笠井 亮君（共産）

- ・政府は、日中韓首脳会議で採択された行動計画（平成20年12月13日）における「2005年9月19日に合意された共同声明の目標達成につき決意を新たにした」との記述について、どのように考えているのか。
- ・共同声明を達成するために、今後どのような政策で対応していくのか。